



## 2024年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月13日

上場会社名 株式会社ワイヤレスゲート 上場取引所 東  
 コード番号 9419 URL <https://www.wirelessgate.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 成田 徹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役COO兼CFO (氏名) 原田 実 TEL 03-6433-2045  
 定時株主総会開催予定日 2025年3月25日 配当支払開始予定日 ー  
 有価証券報告書提出予定日 2025年3月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期の業績 (2024年1月1日～2024年12月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	8,462	△0.2	305	36.0	301	33.5	283	17.7
2023年12月期	8,483	△0.6	224	17.4	225	19.8	241	23.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	26.24	26.20	24.8	10.1	3.6
2023年12月期	22.48	22.32	28.1	7.8	2.6

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 △75百万円 2023年12月期 △97百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	2,992	1,315	43.9	120.70
2023年12月期	2,968	1,015	33.0	91.33

(参考) 自己資本 2024年12月期 1,313百万円 2023年12月期 979百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	229	21	△200	1,829
2023年12月期	424	△3	△91	1,779

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年12月期の業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	6.4	220	△28.0	220	△26.9	200	△29.6	18.37

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期	10,938,574株	2023年12月期	10,779,774株
② 期末自己株式数	2024年12月期	53,000株	2023年12月期	53,000株
③ 期中平均株式数	2024年12月期	10,821,899株	2023年12月期	10,726,774株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 貸借対照表 .....	6
(2) 損益計算書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	増減額	増減率 (%)
売上高	8,483,383	8,462,593	△20,789	△0.2
営業利益	224,661	305,559	80,897	36.0
経常利益	225,473	301,002	75,528	33.5
当期純利益	241,165	283,925	42,759	17.7

当事業年度(2024年1月1日～2024年12月31日)におけるわが国経済は、コロナ禍からの経済活動の正常化が進み、訪日外国人旅行者の増加や個人消費の回復が見られました。一方で、不安定な国際情勢、資源・エネルギー価格の高騰、物価高の影響が依然として続いており、経済環境の先行きは引き続き不透明です。

このような環境の中、当社では引き続き「原価改善」などによる収益基盤の強化を推進し、経営効率の向上を図りました。当社の主力事業である通信事業においては、WiMAXの解約率の悪化による純減傾向が続いておりましたが、第4四半期以降、大口法人解約が落ち着いたことで、12月度は純増に転じました。

また、WiMAXを補完する新商品の展開として、SIMフリータブレットなど新たな通信関連商材の物販販売にも注力し、収益の安定化と再成長を目指し、周辺商品の「ワイヤレスゲートWi-Fi+スマホ保険付き/PC保険付き」、「ウイルスバスター」、「SIM」などの契約(販売)も前年実績を上回る結果となりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は、8,462,593千円(前年同期比0.2%減)、営業利益305,559千円(前年同期比36.0%増)、経常利益301,002千円(前年同期比33.5%増)、当期純利益283,925千円(前年同期比17.7%増)となりました。

当社は、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであります。売上高につきましては区分して記載しており、それぞれの事業ごとの取組みは次のとおりであります。

なお、2024年2月14日公表の中期経営計画2026に記載のとおり当事業年度より従来の区分を変更し、ワイヤレス・リモートサービス事業を通信事業とデジタルマーケティング事業の区分としております。

(単位：千円)

	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	増減額	増減率 (%)
ワイヤレス・リモートサービス事業	8,462,593	△20,789	△0.2
通信事業	8,431,070	△52,312	△0.6
デジタルマーケティング事業	31,523	31,523	—

(ワイヤレス・リモートサービス事業)

当事業年度における売上高は8,462,593千円(前年同期比0.2%減)となりました。

・通信事業

通信事業の売上高の約8割を占めるWiMAXについては、ホームルーター普及による市場拡大を機会と捉えた営業活動の強化、代理店との協業深化、及び直販ECサイトにて販売を実施することにより多様化するお客様のニーズに対応する購入窓口の整備を強化します。引き続き販売代理店との提携強化を進め、モバイルルーター及びホームルーターの需要獲得、さらに「ワイヤレスゲートWi-Fi+スマホ保険付き/PC保険付き」、「ウイルスバスター」、「ピカプロDX」などの周辺サービスの販売拡大やSIMフリータブレット等の新商品開拓を通じて顧客単価の拡大に取り組んでまいります。

この結果、通信事業の当事業年度における売上高は8,431,070千円(前年同期比0.6%減)となりました。

・デジタルマーケティング事業

デジタルマーケティング事業は訪日客向けのe-SIMを軸に既存顧客向けデジタル商材のクロスセルや新規顧客向けのEC事業を展開しております。

既存のSIMカードやWi-Fiルータは空港や販売店に出向き入手する必要がありますが、プリペイド型e-SIMはスマートフォンにダウンロードすれば利用可能となり、訪日客にとって利便性が高くWEB販売と好相性となります。

e-SIMは既に海外では普及しており、日本では未だ普及率が低いことから海外顧客に直接販売し先行者利益の確保を目指します。

この結果、デジタルマーケティング事業の当事業年度における売上高は31,523千円となりました。

※参考 2023年度までの旧区分による売上高

旧区分による売上高		新区分による売上高	
ワイヤレス・リモートサービス事業		ワイヤレス・リモートサービス事業	
・ワイヤレスゲートWi-Fiサービス	8,456,808千円	・通信事業	8,431,070千円
・リモートライフサポートサービス	5,784千円	・デジタルマーケティング事業	31,523千円
合計	8,462,593千円	合計	8,462,593千円

(2) 当期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当事業年度 (2024年12月31日)	増減額	増減率 (%)
流動資産	2,743,283	2,810,215	66,932	2.4
固定資産	225,285	182,006	△43,279	△19.2
資産合計	2,968,569	2,992,221	23,652	0.8
流動負債	1,942,982	1,665,953	△277,028	△14.3
固定負債	10,275	10,382	106	1.0
負債合計	1,953,258	1,676,336	△276,922	△14.2
純資産合計	1,015,310	1,315,885	300,575	29.6
負債・純資産合計	2,968,569	2,992,221	23,652	0.8

(資産の部)

当事業年度末における資産の額は、前事業年度末に比べ23,652千円増加し2,992,221千円となりました。

当事業年度末における流動資産の額は、前事業年度末に比べ66,932千円増加し2,810,215千円となりました。これは主に、現金及び預金が50,705千円、商品が28,302千円増加した一方で、売掛金が1,642千円、前払費用が30,502千円減少したためであります。

当事業年度末における固定資産の額は、前事業年度末に比べ43,279千円減少し182,006千円となりました。これは主に、長期前払費用が10,020千円増加した一方で、投資事業組合運用損の計上及び投資有価証券売却により投資有価証券が12,410千円、繰延税金資産が31,788千円減少したためであります。

(負債の部)

当事業年度末における負債の額は、前事業年度末に比べ276,922千円減少し1,676,336千円となりました。

当事業年度末における流動負債の額は、前事業年度末に比べ277,028千円減少し1,665,953千円となりました。これは主に、未払金が61,497千円増加した一方で、買掛金が86,406千円、短期借入金が200,000千円減少したためであります。

当事業年度末における固定負債の額は、前事業年度末に比べ106千円増加し10,382千円となりました。これは資産除去債務が106千円増加したためであります。

(純資産の部)

当事業年度末における純資産の合計は、前事業年度末に比べ300,575千円増加し1,315,885千円となりました。これは主に、利益剰余金が283,925千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、1,829,793千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは229,070千円の収入となりました。この主な要因は、税引前当期純利益316,663千円、減価償却費10,662千円、前払費用の減少39,454千円、未払金の増加61,465千円、長期未収入金の減少95,747千円があった一方で、貸倒引当金の減少99,495千円、仕入債務の減少86,406千円が発生したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは21,634千円の収入となりました。これは有形固定資産の取得による支出1,292千円があった一方で、投資有価証券の売却による収入16,000千円、投資事業組合からの分配金による収入6,927千円が発生したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは200,000千円の支出となりました。これは、資金減少要因として、短期借入金の返済による支出200,000千円が発生したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

次期（2025年12月期）につきましては、中期経営計画に沿ってさらなる成長を進めるべく、既存事業で安定した利益を確保しつつ、新事業（デジタルマーケティング事業）への投資を加速させます。上記のとおり、さらなる成長に向けた先行投資を実施する見通しのため、売上高は増加するものの、利益面では減益となる見通しです。

2025年12月期の業績予想は、以下となります。

	2024年12月期（実績）	2025年12月期（予想）	増減率
売上高	8,462百万円	9,000百万円	6.4%
営業利益	305百万円	220百万円	△28.0%
経常利益	301百万円	220百万円	△26.9%
当期純利益	283百万円	200百万円	△29.6%

※上記業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社では、財務情報の期間比較や他社との比較可能性等を考慮し、日本基準を適用しております。

なお、国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢等を考慮のうえ、その必要性が高まった際には適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当事業年度 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,779,088	1,829,793
売掛金	839,398	837,756
商品	59,192	87,495
前払費用	59,082	28,580
その他	7,107	27,225
貸倒引当金	△587	△635
流動資産合計	2,743,283	2,810,215
固定資産		
有形固定資産		
建物	25,808	25,808
減価償却累計額	△19,062	△20,335
建物（純額）	6,746	5,472
機械及び装置	2,094	2,094
減価償却累計額	△488	△1,130
機械及び装置（純額）	1,605	963
工具、器具及び備品	165,495	148,239
減価償却累計額	△149,578	△139,082
工具、器具及び備品（純額）	15,916	9,157
有形固定資産合計	24,268	15,593
無形固定資産		
ソフトウェア	1,033	608
無形固定資産合計	1,033	608
投資その他の資産		
投資有価証券	74,873	62,462
関係会社株式	8,427	8,427
長期前払費用	23	10,043
繰延税金資産	82,820	51,031
長期未収入金	188,546	89,003
その他	33,838	33,838
貸倒引当金	△188,546	△89,003
投資その他の資産合計	199,983	165,804
固定資産合計	225,285	182,006
資産合計	2,968,569	2,992,221



(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当事業年度 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	893,909	807,502
短期借入金	500,000	300,000
未払金	483,097	544,594
未払法人税等	36,397	—
未払消費税等	23,248	7,221
預り金	5,364	6,394
前受収益	964	240
流動負債合計	1,942,982	1,665,953
固定負債		
資産除去債務	10,275	10,382
固定負債合計	10,275	10,382
負債合計	1,953,258	1,676,336
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	908,009	933,131
資本剰余金		
資本準備金	847,230	872,352
資本剰余金合計	847,230	872,352
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△647,854	△363,928
利益剰余金合計	△647,854	△363,928
自己株式	△127,657	△127,657
株主資本合計	979,728	1,313,897
新株予約権	35,582	1,988
純資産合計	1,015,310	1,315,885
負債純資産合計	2,968,569	2,992,221

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	8,483,383	8,462,593
売上原価	4,477,405	4,214,306
売上総利益	4,005,977	4,248,286
販売費及び一般管理費	3,781,316	3,942,727
営業利益	224,661	305,559
営業外収益		
受取利息	3	38
受取手数料	331	—
受取遅延損害金	429	774
未払配当金除斥益	891	—
貸倒引当金戻入額	3,388	3,851
その他	100	158
営業外収益合計	5,145	4,823
営業外費用		
支払利息	1,884	2,691
投資事業組合運用損	2,438	6,412
その他	10	275
営業外費用合計	4,333	9,379
経常利益	225,473	301,002
特別利益		
投資有価証券売却益	—	10,001
新株予約権戻入益	4,589	5,659
特別利益合計	4,589	15,661
特別損失		
固定資産除却損	5,501	—
抱合せ株式消滅差損	2,939	—
特別損失合計	8,441	—
税引前当期純利益	221,622	316,663
法人税、住民税及び事業税	32,655	950
法人税等調整額	△52,197	31,788
法人税等合計	△19,542	32,738
当期純利益	241,165	283,925

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 千円)

	純資産						
	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	908,009	847,230	847,230	△889,019	△889,019	△127,657	738,563
当期変動額							
当期純利益				241,165	241,165		241,165
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	241,165	241,165	—	241,165
当期末残高	908,009	847,230	847,230	△647,854	△647,854	△127,657	979,728

	純資産	
	新株予約権	純資産合計
当期首残高	33,560	772,123
当期変動額		
当期純利益		241,165
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	2,021	2,021
当期変動額合計	2,021	243,186
当期末残高	35,582	1,015,310

当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位: 千円)

	純資産						
	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	908,009	847,230	847,230	△647,854	△647,854	△127,657	979,728
当期変動額							
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)	11,155	11,155	11,155				22,310
新株の発行 (新株予約権の行使)	13,966	13,966	13,966				27,933
当期純利益				283,925	283,925		283,925
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	25,121	25,121	25,121	283,925	283,925	—	334,168
当期末残高	933,131	872,352	872,352	△363,928	△363,928	△127,657	1,313,897

	純資産	
	新株予約権	純資産合計
当期首残高	35,582	1,015,310
当期変動額		
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)		22,310
新株の発行 (新株予約権の行使)		27,933
当期純利益		283,925
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△33,593	△33,593
当期変動額合計	△33,593	300,575
当期末残高	1,988	1,315,885

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	221,622	316,663
減価償却費	14,276	10,662
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,399	△99,495
受取利息	△3	△38
固定資産除却損	5,501	—
株式報酬費用	6,611	3,678
新株予約権戻入益	△4,589	△5,659
支払利息	1,884	2,691
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△10,001
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	2,939	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	2,438	6,412
売上債権の増減額 (△は増加)	△22,108	1,642
棚卸資産の増減額 (△は増加)	19,807	△28,736
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,729	△86,406
長期前払費用の増減額 (△は増加)	284	△163
未払金の増減額 (△は減少)	△15,934	61,465
前払費用の増減額 (△は増加)	188,416	39,454
長期未収入金の増減額 (△は増加)	—	95,747
その他	6,249	△35,708
小計	435,724	272,208
利息の受取額	3	38
利息の支払額	△1,794	△2,868
法人税等の支払額	△12,101	△44,102
その他の収入	2,400	3,795
営業活動によるキャッシュ・フロー	424,231	229,070
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,081	△1,292
投資有価証券の売却による収入	—	16,000
投資事業組合からの分配による収入	—	6,927
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,081	21,634
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△200,000
長期借入金の返済による支出	△91,634	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,634	△200,000
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	329,515	50,705
現金及び現金同等物の期首残高	1,352,332	1,779,088
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	97,240	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,779,088	1,829,793

(5) 財務諸表に関する注記事項  
 (継続企業の前提に関する注記)  
 該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
関連会社に対する投資の金額	8,427千円	8,427千円
持分法を適用した場合の投資の金額	65,778千円	7,470千円
持分法を適用した場合の投資損失(△)の金額	△97,529千円	△75,137千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

当社は、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

当社は、ワイヤレス・ブロードバンド関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	91円33銭	120円70銭
1株当たり当期純利益	22円48銭	26円24銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	22円32銭	26円20銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	241,165	283,925
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	241,165	283,925
普通株式の期中平均株式数(株)	10,726,774	10,821,899
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	78,695	12,948
(うち新株予約権(株))	(78,695)	(12,948)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。